



2017年度前期 スタート 第26回 開講式開催 !!

4月4日（火）、開講式が行われました。第1部では来賓として川崎市教育委員会金子浩美生涯学習部長、かわさき市民フロンティア川口重治会長はじめ関係の方々にご出席いただきました。



学長のご挨拶



理事長のご挨拶

最初に太田猛彦学長から、「24年前の開講から一貫して“自立した市民を育てる”を目標に歩み、今や全国有数の市民大学に成長した。技術の発達が進む一方、情報が氾濫、混沌とし、考えの劣化が見られる中、53の総合講座を有する本校の存在が意味を成す。従来からの『知る、考える、自分を深める、繋がる』に『広がる』を加え、本校の基本理念が受講生に浸透していくよう一体となって努力していく」とのご挨拶がありました。藤嶋昭理事長から、「受講者数を増やすこと、具体的には、市の中央と北に比べ、少ない南（川崎区、幸区）の受講生を増やすことを目標とする」。24のロータリークラブ、113の小学校の退職校長会などへの教宣活動の実績が紹介され、「先ずは存在を知ってもらうことが重要である」と述べられました。また、「桜と雀、桜と蝉、ソメイヨシノのDNA、水と氷など自然界には不思議が沢山ある。素晴らしい教授陣のもとこれらの不思議を知ることができる」とのお話がありました。

川崎市生涯学習財団の金井則夫理事長から「今後とも川崎市、財団、アカデミーと連携し、協働の上諸事取り進める」とのご挨拶がありました。

最後に、福田紀彦市長から「関係者の長年の努力により全国に類を見ない充実した内容、規模へ成長したことに敬意を表する。市民の方々が学び楽しむことは人々にとって最高の幸せであり、市にとっても大切なことでアカデミーは川崎市の宝である」とのメッセージが寄せられました。

第2部では、成蹊大学教授西山隆行先生により「米国トランプ政権の出発」の記念講演がありました。（内容は2頁に別掲）

第3部では受講に当たってのオリエンテーションがあり、2017年度のアカデミーがスタートしました。

17年度「総会」開催告知

日時・場所 5月31日(水) 15:30~17:30 フラザ 301

総会は、当NPO法人の最高意思決定機関と位置づけられております。アカデミーの2016年度の事業報告及び2017年度の事業計画が承認される重要な会議です。NPOの会員の皆さまには是非、ご出席を賜りたくお願い申し上げます。



☆開講式記念講演「米国トランプ政権の出発」

政治・社会 国際関係 稲田素子

開講式記念講演は、成蹊大学教授西山隆行先生を講師に「米国トランプ政権の出発」をテーマとして行われた。世界的に注目を集めた政治トピックであり、当日の会場は満員となった。



西山先生の記念講演

講演では、三つの視点からトランプ政権の特徴が明らかにされた。一点目は大統領選挙の勝ち方で、少数者にとって重要な政策には過激発言で右派の票を固め、経済政策では民主党に近い立場で中道派の支持も獲得した。こうした勝ち方は保守主義化など政治の変質につながるが、二大政党の分極化と支持率の低さは政治に動員できる資源の少なさを示すものでもある。二点目は、選挙モードから政権運営への移行で、敵対的姿勢から全国民の象徴へ、個別の不満の抑え上げから政策的継続性や他機関との協調が求められる。アメリカでは行政権は大統領に属しているが、政治経験がない企業経営者の大統領と官僚との意見対立が顕在化している。三点目は、政権最初

の70日間の動きである。保護主義や移民受け入れ拒否などの閉じこもりや、事実より感情を重視するポスト・トゥルースの世界観。閣僚より右派や実務家のスタッフを重視し、安全保障の政策決定から軍・情報機関を排除。TPP 離脱、移民・難民問題、オバマケア撤廃法案でも挫折が続き、対外政策では強い指導者との交渉、力による平和志向、規範・理念の欠如が見られる。

内容からは、アメリカの議会政治や統治機構に照らした政権の特殊性を知ることができた。人気の背後には、連邦議会、既存メディア、民主政治等への不信や、貧富、ジェンダー、人種・エスニシティによる分断があり、その根の深さも感じた。日本はどのように交渉し、弾劾の可能性はあるのか。変動の時代を知る、考える、また社会とつながる大切さを実感した講演であった。



満席の講演風景

☆“サポートスタッフの声”

NPO 事務局アシスタントとして

平成21年から、事務局スタッフ皆さんの事務的作業のお手伝いをしております。

主に受講決定通知、受講料払込み依頼資料等の束ねや封入作業等の細々とした作業を、前期・後期合わせて2,3回おこなっています。

その結果、私たちの作業を通じて、皆さんが楽しい受講ができることに少しばかり誇りを持っています。

サポートスタッフとして、そしてひいては受講者皆さまのお役にたてればと、今後もお手伝いを続けたいと思います。 K・T

パンフ専用ラックサポートスタッフとして

今回、前期の募集パンフレットのサポートスタッフとして、川崎図書館、幸市民館の在庫チェックを担当いたしました。

ラックの上3段しか使用されておらず補充も十分でなかったり、市民館改修工事のためにラックを区役所ロビーに移動したりと、今まで気にもしていなかったことが目に留まるようになりました。また週に一度補充のために常にパンフをリュックに入れて持ち歩いていたことで、新たに健康福祉センター等にも置いていただけることができました。 K・K

☆サポートスタッフ募集中!! —お気軽に事務局にお尋ねください。

アカデミーの運営に当たっては様々な数多くの事務作業があります。

円滑な運営を図るため、昨年後期より受講生の皆さまに、ボランティアとして登録していただくサポートスタッフ制度を設けました。現在34名の方が事務局、広報部会、各種イベント等のお手伝いで多大な貢献をいただいております。今後も増員をし、更なる運営の充実を図りたく、受講生の皆さまのご協力をお願いいたします。

☆第9回「受講生のつどい」のご報告

3月3日（金）、2016年度修了式を兼ねた受講生のつどいが開催されました。今回、101名の方が出席されました。今年度は71名の受講生が修了（30単位を取得）され、うち、当日30名が出席いたしました。修了生を代表して竹内誠一郎さん（経済・経済WS・音楽Ⅰ）が修了証書を太田学長より受領、アカデミーの思い出を話されました。第2部では竹廻家寿々々さんの落語を楽しみ、居合道も披露。「先生の時間・くつろぎタイム」では先生方のユーモアあふれるお話をたっぷりと聞かせていただきました。今回も受講生のボランティア実行委員が大活躍、つどいを盛り上げてくれました。

受講生のつどい実行委員会

つどいの写真集



☆かわさき市民アカデミーのあらまし ーシリーズその1ー

NPO 法人かわさき市民アカデミーとは

1993年、市民の生涯学習を目指し、受講生が“自立した市民”に成長するための知識を提供することを目指し開学しました。

（小冊子：かわさき市民アカデミー『学び、ひろがり 深まる』から）。

2007年、川崎市の方針転換により特定非営利活動法人（NPO 法人）が受講生の中から生まれ、運営を担うことになりました。

大学の教養レベルの講座を提供。座学、外歩き、討議・討論形式の授業を行い、さらに受講生による運営を特徴としている、川崎市が誇る日本一の市民大学です。



401 教室での授業の様子

会員及び種類一大きく分けて2つの会員制度があります。

①アカデミー会員

受講料を納付し、授業を受ける資格を取得した受講生の皆さまの総称。

下記の3つの区分があります。

- ・2年会員：2年間の継続受講を目指す受講生。割引制度適用。
- ・1年会員：2年間は長いと考え1年間の受講。割引制度適用。
- ・聴講生：半期の受講生。

②NPO 会員

会員として登録（任意）し、NPO 法人の運営を担って頂きます。

「総会」はNPO 法人の最高意思決定機関で年に1回、5月に開催されます。NPO 会員は総会に出席し、質問や意見を述べる事が出来ます。



教室の運営について

「市民による、市民のための、市民大学」です。教室の運営は受講生の皆さまのご協力で行われています。

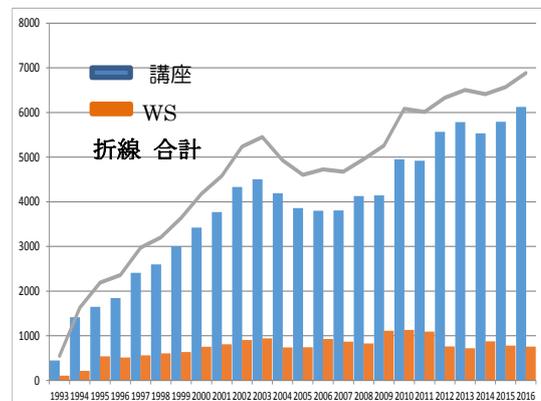
・当番制

授業での受付、終了後の片付け等、受講生の皆さまにご協力をお願いしています。

・運営世話人

授業の進め方、次期テーマの検討等、楽しく充実した講座・WSの実現に、受講生による世話人（クラス委員）をお願いしています。

受講生の推移



編集後記

NPO 経営のバイブルと言われるP.F.ドラッカー氏の著書『非営利組織の経営』の中に、「非営利組織は、人を変えた時（変革された人とその人生一学ぶ学生等）その役割を果たす」とありました。はじめは、どう言うことか理解出来ませんでした。

私は、長年受講生として通っていて、アカデミーに何か貢献出来ないかと考え理事になりました。自分では意識していませんでしたが、いつの間にか自分が変わったのだと思います。アカデミーは「人を変える」。アカデミーで学んでいて良かったと思う今日この頃です。

編集委員

認定 NPO 法人

かわさき市民アカデミー

発行人 広報部会

編集人 かわら版編集委員会

川崎市中原区今井南町 28-41

川崎市生涯学習プラザ 3F

電話：044-733-5590 FAX044-722-5761

問合せメールアドレス

info@npoacademy.jp

ホームページ

<http://npoacademy.jp/>